

講師：南 弘之（鹿児島大学歯学部顎顔面機能再建学講座教授）

昨今のデジタル技術は目覚ましいものがある。

パラジウムの高騰と患者様の白い歯の要望もあり、CAD/CAM 冠が保険導入され、小臼歯、大臼歯、前歯そしてインレーと範囲が広がり、保険診療の中で手軽に口腔内に入れることができるようになった。

当初、メタルを使った補綴物と同様の認識で接着が行われ、脱離や破折が起こったが、その後、接着剤の開発や歯牙形成のエビデンスが確立され、トラブルの発生も少なくなりつつある。

ジルコニア冠及び CAD/CAM 冠の接着がより確実に行われ、安心して患者様に補綴物の提供を行うには、接着のメカニズムを正確に把握しておく必要がある。

あわせて、CAD/CAM 製品全般の取り扱いに関し、技工サイド、歯科医師サイドが気を付けないといけないことを、いろいろな角度から検証をする。

講師：岩切信也（日技認定講師）

実際に IOS を体験いただき、そのデータを元に 3D プリンタで模型造形、同時に補綴物加工までの一連の流れをご見学いただきます。